

<基本情報>

所在地：福岡県うきは市浮羽町

<農場概要>

- 茶園場7ha、全て有機JAS認証を取得
- 常時雇用4名（生産2名、店舗2名）臨時雇用5名
- **平成12年有機JAS認証（農産物、加工食品）取得**



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 昭和30年代に祖父が茶生産を開始。引き継いだ両親が農薬散布などの影響で体調不良となったことから、昭和48年に思い切って農薬を一切使用しない栽培方法に切り替えた。

<販売について>

- 荒茶の2割が卸販売、残り8割は自社で商品化し、自社販売店、道の駅、百貨店、インターネット及びイベント等で販売。今年開業したワンビル（福岡市）内の店舗でも取り扱われるなど都市部からの引き合いが多く、販売額は順調に伸びている。
- 令和6年度の売上高は、法人化した**平成25年度の約1.8倍**。
- 19品種を栽培しているが、5品種はブレンドせずに「シングルオリジン」として販売。
- 平成28年から輸出にも取り組み開始。現在の輸出先はスイス、ドイツ、オーストラリア、台湾。

<自社販売について>

- 平成7年に自社店舗をオープン。平成25年古民家を改装した現店舗に移転し、自社販売を行っている。近隣に建設された外資系ホテルの宿泊客が買い物に来るなど日本人だけではなく海外観光客の取り込みにも成功している。



地元の棚田をイメージした商品棚

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**
昭和48年当時は、にんにくや木酢を害虫予防として散布していたが、風通しが良く、湿度も低めになる条件を活かして現在は何も行っていない。
- **雑草対策**
春や秋は草刈り機などで刈り取っているが、夏場はつる性の雑草など、根や球根を1本1本手取りしている。
- **土づくり**
堆肥に微生物を入れて発酵させる「ボカシ肥料」を手作業で施している。



圃場は標高400~500m

<苦労しているところ>

- 夏場の猛暑の中での手作業による草取りが一番大変。また、近年は異常気象で12月まで草取りが必要だが、お客様に安心して購入して頂くためには避けて通れない。
- 単収は、慣行栽培の約半分、生葉で300kg~350kg程度。

<今後の展開>

- 有機栽培の維持と品質保持に注力し、消費者の信頼を維持することが最も重要であり、無理な拡大よりも着実な運営を重視していきたい。